

平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス			
教科目名	流体力学 I	担当教員	中谷 淳
学年学科	4 年 機械工学科	通年	必修 2 単位(学修)
学習・教育目標	(D-4) 100%	JABEE 基準 1 (1) : (d)	
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 流体力学は機械工学科に在籍する学生が身に付けるべき基礎的な専門科目の一つである。よって、本授業で扱う内容は、機械工学科出身者として技術者の世界に飛び込んだときに当然知っておくべき内容で構成される。 流体力学 I で扱う内容を以下に示す。 ① 流体の性質と分類 (第 2 回～第 4 回) ② 流れの基礎 (第 5 回～第 7 回) ③ 静止流体の力学 (第 9 回～第 15 回) ④ 準一次元流れ (第 16 回～第 19 回)		<b>成績評価の方法：</b> ・ 中間試験 100 点×2 回, 期末試験 100 点×2 回, 課題 40 点の合計 440 点の総得点率を 10 段階で評価する。なお、各試験には教室外学習、およびアクティブラーニングで実施した内容も含まれる。 ・ 試験中の不正行為が発覚した学生については、該当期間の試験成績は 0 点とする (追試験等も実施しない)。	
		<b>達成度評価の基準：</b> 流体力学の専門書において共通的な内容に関する練習問題と同レベルの演習問題等、そして、教室外学習やアクティブラーニングの内容を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。なお、下記項目の成績評価への重みは全て均等である。 ① 流体の性質と分類に関する問題をほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる。 ② 流れの基礎に関する問題をほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる。 ③ 静止流体の力学に関する問題をほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる。 ④ ④ 準一次元流れに関する問題をほぼ正確に (6 割以上) 解くことができる。	
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> ・ 授業では下記に示す教科書指定の専門書を踏まえて進める。また、必要に応じて別途資料を提示する。 ・ 授業に関する質問等は原則、オフィスアワーを利用すること。 ・ 数学や物理学 (力学) の基礎的な内容を十分に復習しておくことが望ましい。 ・ 「習うより慣れよ」の精神で授業に臨むこと。 ・ 必要に応じて下記予定を変更することも有り得る。			
<b>教科書および参考書：</b> (教科書) 日本機械学会, "JSME テキストシリーズ 流体力学". 日本機械学会, 2005. (参考書) 日本機械学会, "JSME テキストシリーズ 演習 流体力学", 日本機械学会, 2012. 中山泰喜, "改訂版 流体の力学", 養賢堂, 1998.			
授業の概要と予定：前期		教室外学修	AL のレベル
第 1 回： ガイダンス, 流体力学の概要		(確認) 流体力学で扱う物理量	
第 2 回： 演習・機械設計技術者試験過去問		第 2 回に関する演習	
第 3 回： 流体の基本的性質 1・粘性		第 3 回に関する演習	
第 4 回： 流体の基本的性質 2・圧縮性		第 4 回に関する演習	
第 5 回： 表面張力		第 5 回に関する演習	
第 6 回： 理想流体		第 6 回に関する演習	
第 7 回： 単位と次元		第 7 回に関する演習	
第 8 回： 中間試験 (前期)			
第 9 回： 流れの基礎, 流れの取扱い		第 9 回に関する演習	
第 10 回： 流体の加速度		第 10 回に関する演習	
第 11 回： 流線, 流脈線, 流跡線, 流管		第 11 回に関する演習	
第 12 回： 流体の変形と回転		第 12 回に関する演習	
第 13 回： 流れの分類		第 13 回に関する演習	
第 14 回： 層流と乱流		第 14 回に関する演習	
第 15 回： 層流と乱流		第 15 回に関する演習	B
期末試験 (前期)			
第 16 回： フォローアップ			

授業の概要と予定：後期		ALのレベル
第17回： 圧力と等方性	第17回に関する演習	
第18回： オイラーの平衡方程式1	第18回に関する演習	
第19回： 重力場における圧力分布1：水の場合	第19回に関する演習	
第20回： 重力場における圧力分布2：空気の場合	第20回に関する演習	
第21回： マノメータ	第21回に関する演習	
第22回： U字管マノメータ	第22回に関する演習	
第23回： 微差圧計，傾斜マノメータ	第23回に関する演習	
第24回： 中間試験（後期）		
第25回： 平面に働く力	第25回に関する演習	
第26回： 曲面に働く力	第26回に関する演習	
第27回： 浮揚体の安定性	第27回に関する演習	
第28回： 相対的静止	第28回に関する演習	
第29回： 連続の式	第29回に関する演習	
第30回： ベルヌーイの式	第30回に関する演習	
第31回： ベルヌーイの式の応用	第31回に関する演習	B
期末試験（後期）		
第32回： フォローアップ		

### （評価）ルーブリック

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	流体の性質と分類に関する問題を十分に(8割以上)解くことができる。	流体の性質と分類に関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	流体の性質と分類に関する問題を解くことができない。
②	流れの基礎に関する問題を十分に(8割以上)解くことができる。	流れの基礎に関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	流れの基礎に関する問題を解くことができない。
③	静止流体の力学に関する問題を十分に(8割以上)解くことができる。	静止流体の力学に関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	静止流体の力学に関する問題を解くことができない。
④	準一次元流れに関する問題を十分に(8割以上)解くことができる。	準一次元流れに関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	準一次元流れに関する問題を解くことができない。